

再生可能エネルギーの高度利用に向けた 材料・デバイス技術の進展

Progress in Materials and Devices Technology for Advanced
Use of Renewable Energy

実施日：2018年3月19日(月)

場所： 応用物理学会会場(早稲田大学西早稲田キャンパス)

再生可能エネルギーの利用においては、様々な材料やデバイスが使われている。さらには、これらを統合した形での利用が通常である。本シンポジウムでは、この再生可能エネルギーの利用に関しての材料やデバイスについて、総合的な議論を行い、将来に向けて応用物理学会がこの分野に果たす役割を考える。

＜招待講演内容と講演予定者＞(順不同)

再生可能エネルギーの実用化に向けた全体像とアンモニア利用

市川 貴之 広島大学

植物バイオリズムと自然エネルギー利用

中西 周次 大阪大学太陽エネルギー化学研究センター

太陽電池の現状

山田 明 東京工業大学 工学院

Liイオン電池によるエネルギー貯蔵

伊藤 隆 東北大学 学際科学フロンティア研究所

酸化物エレクトロニクスとエネルギー

一杉 太郎 東京工業大学

超電導蓄電材料

下山 淳一 青山学院大学

光電気化学水分解

嶺岸 耕 東京大学、JSTさきがけ

Mn系電気化学触媒の水酸化酸素生成メカニズム

中村 龍平 理化学研究所、東京工業大学

＜シンポジウム世話人＞

応用物理学会 エネルギーシステム研究会

杉山正和(東大)、小栗正也(東海大)、内田晴久(東海大)、藤井克司(理研光量子)